



**華蔵院**  
1339年とい  
銘文のある  
「華蔵院の礎石」  
は、県の指定工芸品  
です。  
円筒  
華蔵院の猫  
の型

はんやう ぶと  
**反射炉跡**  
県指定史跡

さんじょうもん  
市指定建造物  
**山上門**  
日保12年  
にこの地に  
移築  
された

元禄11年(698年) 植樹350年の御殿の松  
水戸光圀が建てた  
水戸藩の別邸  
漆公園  
(寛政開跡)  
美しい  
松林を通し見る名月が  
美しい

安政4年(1857年)に完成した  
水戸藩9代藩主 徳川齊昭公が  
大砲鑄造を目的に建てた  
水戸藩江戸川石川邸(東京都文京区)  
にあった奉天(奉天)の跡に設けられた門  
の形式は江戸時代の典型的な築山門  
で、西郷隆盛や幕末の志士たちもこの門を  
くぐったといわれています。

那珂湊おきかな市場

那珂湊漁港

みちもとまちの漫遊MAP

- 水戸藩ゆかりのまちめぐり
- 賞賛園跡と幕末の海防の地めぐり
- まちかど博物館めぐり
- ※まちかど博物館は裏面に掲載しています!







# 徳川御三家 水戸藩ゆかりの史跡と「まちかど博物館」めぐり

モデルコース (見学も含めて徒歩約1時間30分)

那珂湊駅 — 明石屋 安源七商店 — 山上門・反射炉跡 — 稲葉屋菓子店 — 華蔵院 — 湊公園・資資閣跡・湊御殿の松 — 旧あさ川 那珂湊店 — 天満宮 — 四郎介稲荷 — 那珂湊駅

那珂湊は江戸時代から舟運(しゅううん)の拠点として栄え、まちなかには町屋や蔵が建ち並んで人や物資で賑わい、水戸藩で最も繁栄した地でした。徳川光圀ら歴代藩主もしばしばこの地を訪れ、藩の施設も次々造られました。しかし、幕末の水戸藩士の抗争(元治甲子の乱)や昭和22年の大火で著名な建物や神社仏閣、町屋や商家の多くが失われ、さらに東日本大震災でも歴史ある土蔵などが倒壊してしまいました。数々の苦難に耐え、那珂湊の繁栄当時の面影を今に残す貴重な商家などを「まちかど博物館」と呼んでいます。「まちかど博物館」ではお店の昔話や建物の説明を聞くことができます。水戸藩ゆかりの史跡めぐりの途中、気軽に訪ねてみてください。※店主等が不在の場合は説明が聞けないこともあります。

## まちかど博物館のお店



**明石屋 安源七商店**  
大正初期の建物。カレンダー・うちわ販売。



**稲葉屋菓子店**  
明治20年の創業の和菓子店。飴玉「はんしゃろの鉄砲玉」が有名。



**あさ川 那珂湊店**  
昭和初期の建物。元は醸造業。



**梅藤米穀店**  
昭和初期の建物。米穀販売店。



NEW! らくらく電動サイクル!!

那珂湊駅からのまちなかめぐりはレンタサイクルが便利です。

### 那珂湊駅

大正2年に湊鉄道として開業以来の木造駅舎。事務室や木造のホームの柱などに当時の面影が残る。「フラガール」ほか映画・テレビ撮影の舞台にもよく使われる。「関東の駅百選」にも認定されている。



2013年12月に湊線は開業100周年を迎えました



**山上門** 【市指定文化財】  
水戸藩江戸小石川邸(東京都文京区)にあった勅使奉迎のために設けられた門。門の形式は江戸時代の典型的な業医門で西郷隆盛や幕末の志士たちもこの門をくぐったと伝えられる。昭和12年にこの地に移築された。



**那珂湊反射炉** 【県指定史跡】  
安政4年(1858)、国防の必要性を唱えた9代藩主・徳川斉昭が鉄製大砲の鑄造施設として建設。反射炉の名前は火災を炉内で効率よく反射させる構造に由来している。幕末の元治甲子の乱(1864)で焼失するまで約20門が鑄造され幕府へも献上された。現在の反射炉は昭和12年に復元された。



**資資閣跡 湊御殿の松** 【市指定天然記念物】  
資資閣(いひんかく)は元禄11年(1698)に2代藩主・徳川光圀(黄門様)が建てた水戸藩の別邸。湊御殿とも呼ばれ、一部2階建て部屋数は30前後あった。元治甲子の乱で焼失した跡地は湊公園として整備され、光圀が須磨明石(兵庫県)から取り寄せたという樹齢約350年の見事な黒松が12本残されている。公園は太平洋や那珂川が見渡せる那珂湊地区一番の景勝地。

## 2015 グッドデザイン賞受賞 湊線の駅名標が2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。(制作はデザイナーの小佐原孝幸さん)

**勝間** ひたちなか市の玄関口。JR常磐線からの乗換駅で湊線発着駅。1番線を会社線としているJR駅は全国でもまれです。常磐線とのポイントは今も残っています。毎年1万人以上の参加者を誇る「勝間全国マラソン大会」で有名です。  
D 海浜鉄道社章の一部と駅前のビル群

**白工前** 勝田駅から約700m。かつては日立工機従業員専用の駅で朝夕だけの停車でしたが、現在は全列車が停まります。勝田表町通り商店街や文化会館、甲斐武田氏発祥の地として関係資料を展示した「武田氏館」へ便利です。  
D 日立工機にちなみ電動工具

**中根** 駅の周囲一面が田園風景。首都圏から一番近い「秘境駅」で、沿線一番の撮影スポットです。国指定史跡で彩色壁画が保存されている「虎塚古墳」や県指定史跡「十五郎穴横穴墓群」、400年の歴史をもつ「中根の湯」への最寄り駅です。  
D 虎塚古墳と出土した刀剣

**平磯** 駅から海へ向かうと、かつて漁業と潮湯治で栄えた町並みが残されています。波が穏やかな平磯海水浴場の真ん中には子どもたちに人気の「クジラの大ちゃん」がニコリして浮かんでいます。  
D クジラの大ちゃんと平磯太陽観測センターの電波望遠鏡

**磯崎** ひたちなか市は干しいも生産量が日本一。周囲にはさつまいも畑が広がります。駅から近い海岸線は中生代白亜紀の岩礁で、アンモナイトや竜巻の骨の化石が発見されました。近くの「酒列磯前神社」は1000年以上の歴史を誇ります。  
D さつまいも

**阿寄ヶ浦** 湊線の終着駅。長いホームは上野駅からの海水浴臨時列車「急行あじがうら号」が乗り入れた名残です。阿寄ヶ浦海水浴場と国営ひたち海浜公園への最寄り駅。海浜公園へはネモフィラやコキアの季節に無料シャトルバスを駅から運行します。  
D 温泉、アンコウ、釣り針、海藻  
※ Dは駅名標のデザインです。



**駅猫ニ々野 & 西川**  
ボつは那珂湊駅に在る駅猫「おさむ」。手にしているのは味の「ニ々野」マン。昔は那珂湊駅の構内にいたけど、時々まわりの巡回にも出かけるニ々野。

### 海浜鉄道&応援団 INFORMATION

湊線と沿線の情報はHPとfacebook・twitterで!

検索 ひたちなか海浜鉄道 または おらが鉄道応援団 facebook

【ひたちなか海浜鉄道】  
http://www.hitachinaka-rail.co.jp/  
http://www.twitter.com/minatoline/  
【おらが湊線応援団】  
http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters/  
http://www.minatosen.com/

### 応援団ギャラリー ケハ601&キハ203

応援団では那珂湊駅構内北側で日本初のステンレス気動車ケハ601とキハ203を利用して湊線鉄道資料や写真のギャラリーを運営しています。公開は通常毎週日曜日。団体での観覧希望も応援団にご相談ください。(応援団事務局 029-263-7811へ)

ケハ601とキハ203 (手前)

### 「乗車証明書」提示でおトクな旅!

湊線を応援する店舗や旅館等では「乗車特典サービス」を実施しています。那珂湊駅または乗務員が発行する「乗車証明書」の提示で、各店独自のサービスが受けられます。土・日は那珂湊駅で応援団員が配布しています。

### 応援券付 硬券フリー切符

四季毎に異なるデザインの特製硬券一日フリー切符と、湊線応援券がセットになっています。各季節の応援券を4枚集めて那珂湊駅に提示すると、湊線グッズがプレゼントされます。(那珂湊駅と勝田駅湊線改札で販売しています。) 販売価格は1,000円です。

### ポストカード販売!

駅猫セットが好評です。

5枚組 350円